

DMG森精機株式会社

2025年度上半期(1-6月)決算説明資料

2025年8月1日

1. 2025年度上半期(1-6月)決算概要、年度予想

2. 事業環境

3. MX推進: EMO2025 Hannover

- EMO2025ハイライト
- ワールド・プレミア（世界初披露機）
- 自動化
- DX by CELOS X
- グリーンモード機能

4. 防衛産業の概況・見通し

5. *my* DMG MORI eMarket開始

6. 2025年度 株主様ご優待制度について

- ✓ 連結受注額：1-6月 (上半期) 2,486億円、前年度下半期(2024年7-12月) 比8.4%増
4-6月 (第2四半期) 1,279億円、前四半期比(2025年1-3月) 比6.0%増と回復基調

- ✓ 機械受注平均単価：80.8百万円(2024年度：71.0百万円 / 14%増)、498千EUR (同：433千EUR / 15%増) MXに加え大型案件受注が寄与

- ✓ MRO(メンテナンス・リペア・オーバーホール)、スペアパーツ、エンジニアリング受注額：597億円、前四半期比同水準。連結受注に占める構成比 24% (前年度：25%)

- ✓ 2025年6月末機械受注残 2,332億円 (2024年12月末：2,180億円)

- ✓ 2025年1-6月期実績：売上収益 2,275億円 (前年同期比：13.7%減)、営業利益* 65億円(同：73.0%減)、営業利益率 2.9% (前年同期：9.1%)、
四半期ベース営業利益率は、前四半期比改善 1.6% (1-3月) → 4.1% (4-6月)

注) 2024年上半期営業利益：DMG MORI Precision Boring株式会社 (旧倉敷機械株式会社) を連結開始した際に発生した負ののれん17億円計上しています。

- ✓ お客様のデータ・ハンドリング向け需要が拡大 (第2四半期は、データセンター向け大型発電機器向け大型案件が寄与)
- ✓ 宇宙、航空、エネルギー、防衛向け好調

2025年度 上半期 (1-6月)決算概要

DMG MORI

(上半期)					(年度)			
(億円)	2023年 1H	2024年 1H	2025年 1H	増減 (%)	2023年	2024年	2025年 見通し (2月5日公表)	増減 (%)
連結受注	2,758	2,667	2,486	-6.8	5,200	4,960	5,300	+6.9
連結受注残	2,820	2,730	2,332		2,470	2,180	—	
売上収益	2,495	2,637	2,275	-13.7	5,395	5,409	5,100	-5.7
営業利益	226	241*	65	-73.0	554	437	380	-13.1
営業利益率	9.0%	9.1%	2.9%		10.3%	8.1%	7.5%	
継続事業からの当期利益	149	153	21	-86.1	354	231	200	-13.4
ロシア製造会社 連結除外損失	-0	-151**	-		-12	-151**	—	
当期利益 (親会社所有者帰属)	149	-0	21		339	77	200	2.6倍
償却費(リース含む)	124	152	165		263	315	350	
設備投資額	191	152	118		425	438	300	
USD/JPY	134.9	152.3	148.6		140.6	151.6	144***	
EUR/JPY	145.8	164.6	162.2		152.0	164.0	161	

*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社（旧倉敷機械株式会社）を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

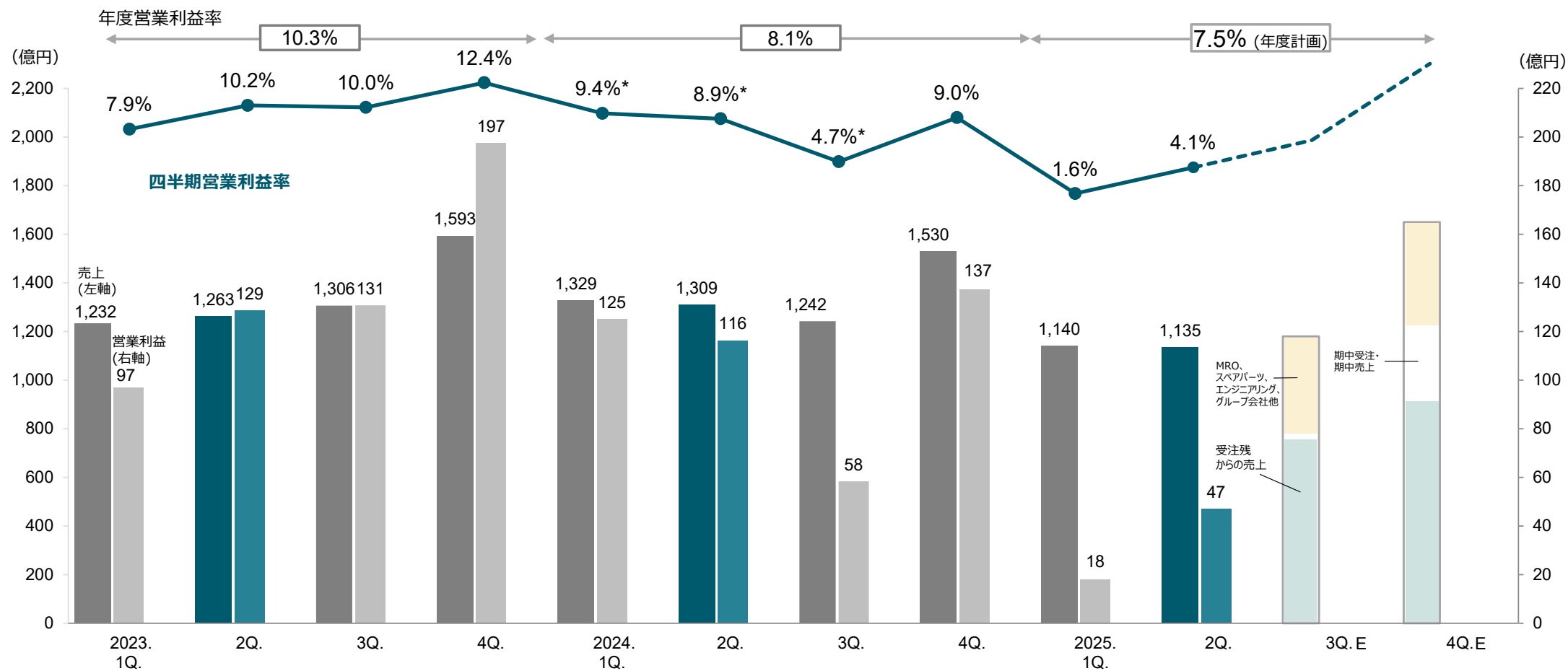
**2024年第1四半期に、ロシアの製造子会社がロシア政府に収用されたことにより、一過性の連結除外損失91.8百万EUR (EUR/JPY=164.0換算で151億円) を認識。
ドイツ連邦政府に対し、ロシア工場の保険請求（約101百万EUR）中。

***下半期の想定レート
USD/JPY = 140
EUR/JPY = 160

四半期業績推移

DMG MORI

- ・ 第2四半期(4-6月)の営業利益率は4.1%と、第1四半期の1.6%から改善
- ・ 年度営業利益率は7.5%計画。第4四半期(10-12月)に中・大型機の売上集中、下期から品質コスト改善の寄与



*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring (旧・倉敷機械株式会社)を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

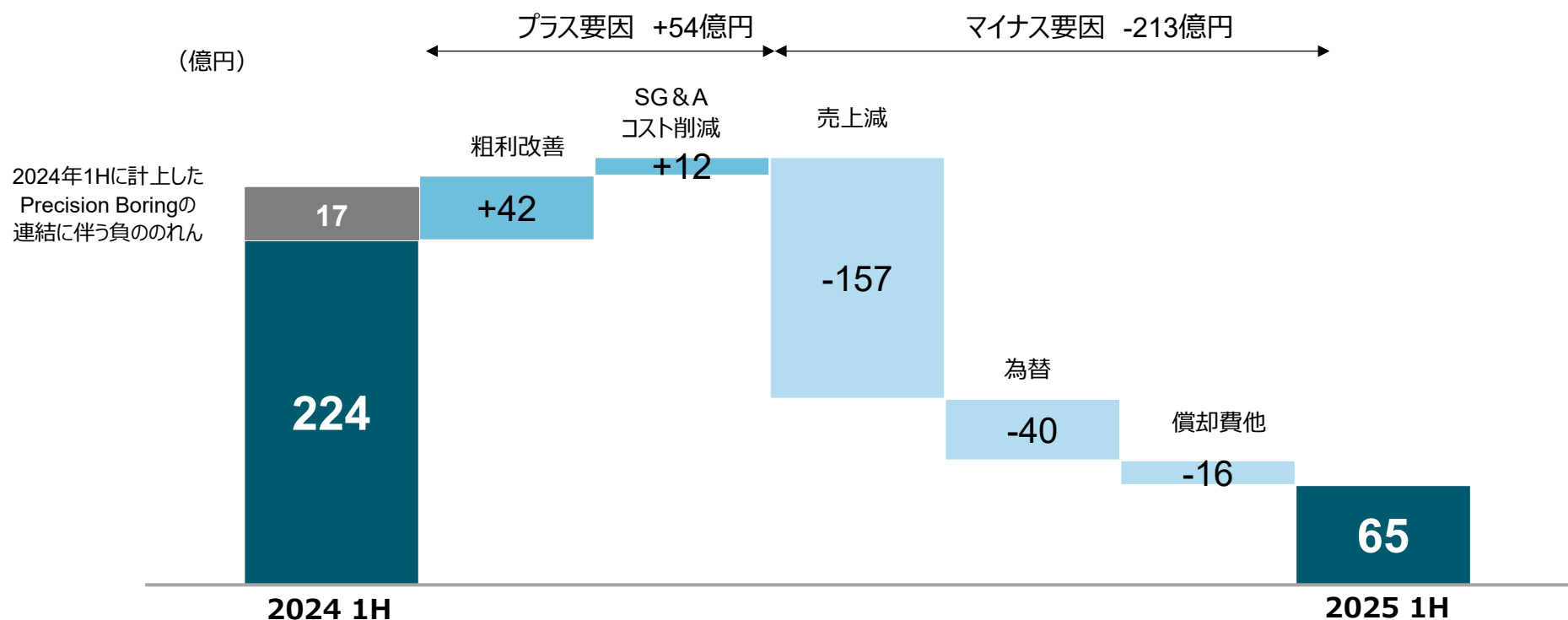
営業利益増減分析 2024年度上半期 vs. 2025年度上半期

DMG MORI

- 売上減少の影響大。第4四半期以降、受注残からの売上寄与増により、売上減の影響は緩和
- 値引率低減及び生産性改善による粗利改善が継続

(億円)	FY2024.1H	FY2025.1H	増減
売上収益	2,637	2,275	-362

為替レート：	USD/円	FY2024.1H	FY2025.1H
	EUR/円	152.3	148.6
		164.6	162.2



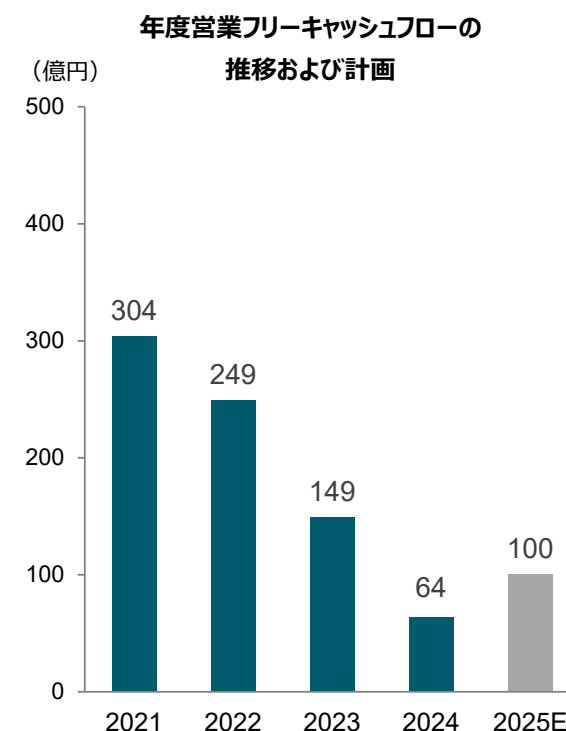
*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社（旧倉敷機械株式会社）を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 上半期の営業フリーキャッシュフローは98億円の赤字。四半期ベースでは第1四半期の89億円の赤字から、第2四半期に9億円の赤字と大幅改善
- ・ 設備投資は、計画通り償却費を大幅に下回る。年度での営業フリーキャッシュフローは100億円を計画

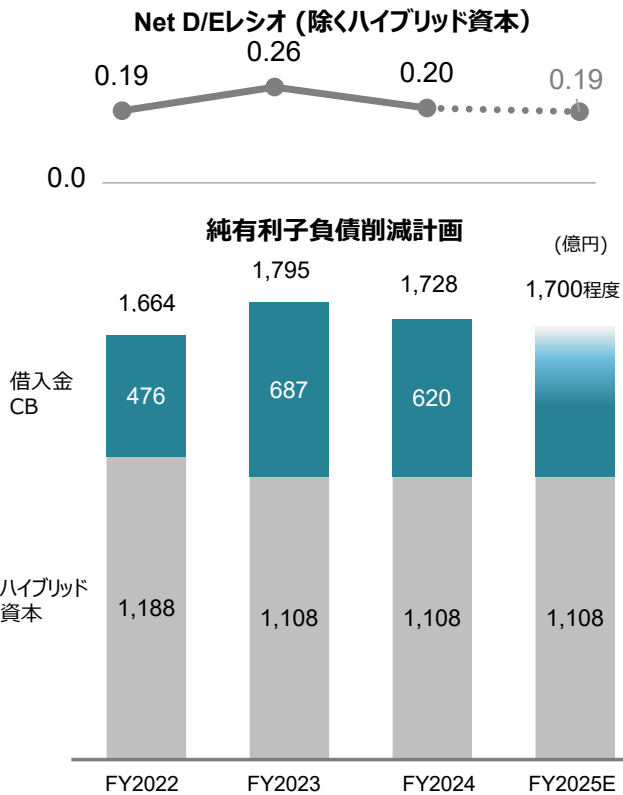
(億円)	2023					2024					2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q E	4Q E	FY (E)
営業キャッシュフロー	93	51	58	315	516	95	-94	110	336	446	-38	51	125	262	400
税引前四半期利益	85	112	117	165	479	110	104	38	119	371	4	29			
償却費	62	63	68	72	265	74	78	78	85	315	81	83			
運転資本増減	-17	-102	-71	99	-91	1	-138	14	118	-5	-46	-2			
その他	-37	-23	-56	-21	-137	-90	-138	-20	14	-235	-77	-59			
投資キャッシュフロー	-111	-101	-96	-59	-367	-106	-64	-96	-117	-382	-51	-60	-95	-94	-300
営業フリーキャッシュフロー	-18	-50	-39	256	149	-11	-158	14	219	64	-89	-9	30	168	100



貸借対照表サマリー

- BS総額を抑制。棚卸資産、有形固定資産もほぼ横ばいで推移
- Net Debt/Equityレシオは0.25と低位水準を維持

資産の部			負債・資本の部		
	7,976億円	7,899億円	7,976億円	7,899億円	
短期金融資産	444	318	751	653	仕入債務
営業債権	667	630	846	843	契約負債 (前受金)
棚卸資産	1,900	1,922	1,065	1,100	有利子負債
有形固定資産	2,413	2,398	602	612	AG株式買取債務
のれん	900	922	1,547	1,577	その他負債
無形資産	1,106	1,130	3,145	3,099	株主資本 (内、ハイブリッド資本 : 1,108億円)
その他資産	545	579			
	2024年12月末	2025年6月末	2024年12月末	2025年6月末	
期末日レート (EUR / JPY)	164.9	169.7	株主資本比率	39.4%	39.2%
			純有利子負債	620億円	782億円
			Net D/Eレシオ	0.20	0.25

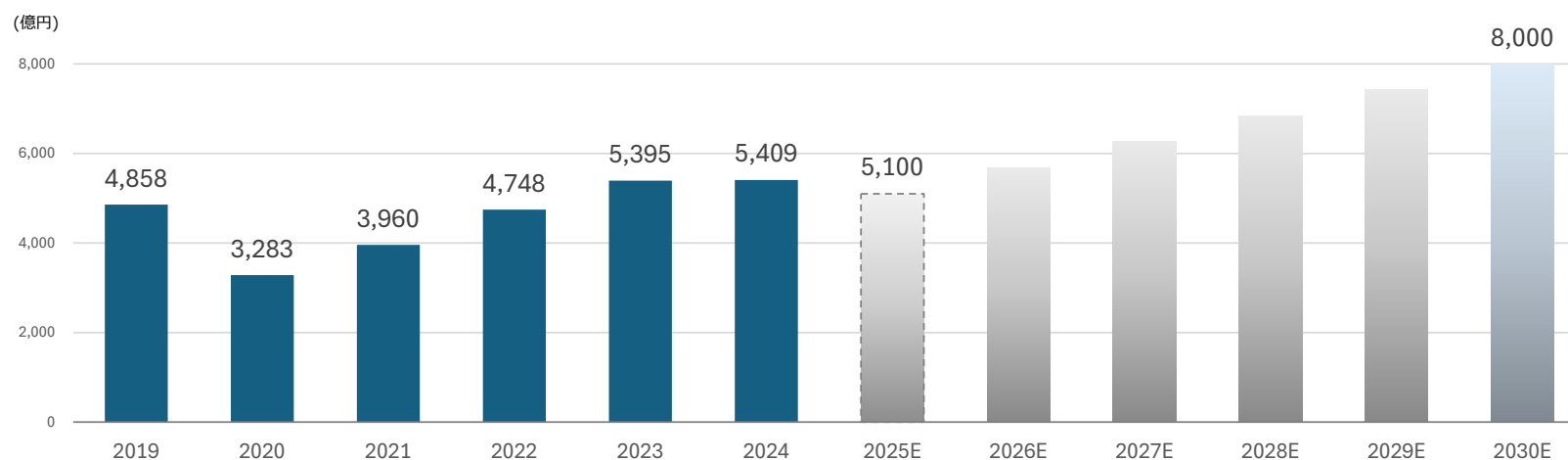


2030年目標 達成に向けて戦略実行中

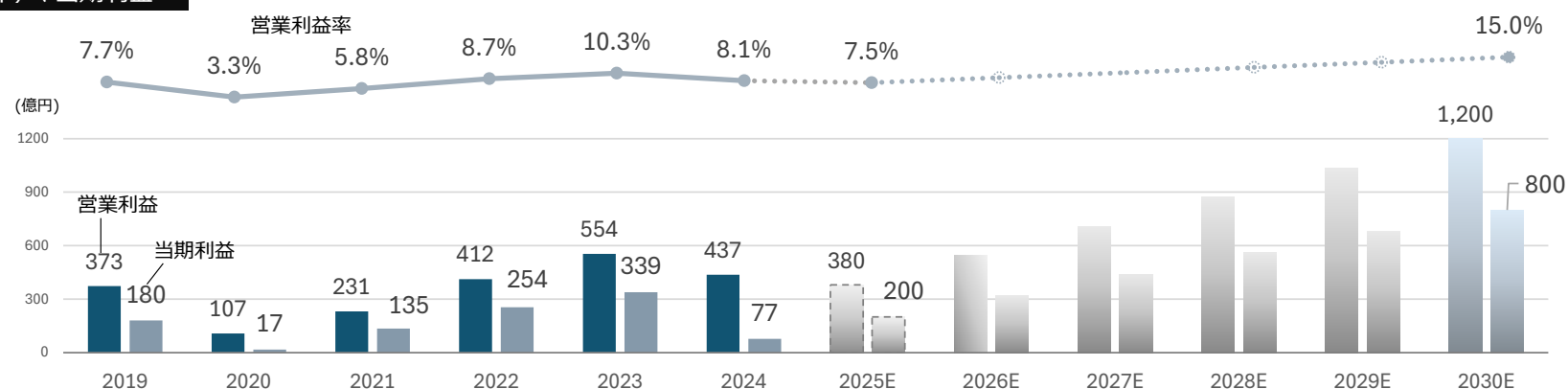
DMG MORI

- ・ 航空、宇宙、防衛、データ・ハンドリング、電源開発、医療関係向け需要増が売上牽引。受注は2024年度下半期を底に回復過程
- ・ MX提供による値引低減による粗利改善で2030年営業利益率15%目標

連結売上収益



営業利益（営業利益率）、当期利益



1. 2025年度上半期(1-6月)決算概要、年度予想

2. 事業環境

3. MX推進: EMO2025 Hannover

- EMO2025ハイライト
- ワールド・プレミア（世界初披露機）
- 自動化
- DX by CELOS X
- グリーンモード機能

4. 防衛産業の概況・見通し

5. *my* DMG MORI eMarket開始

6. 2025年度 株主様ご優待制度について

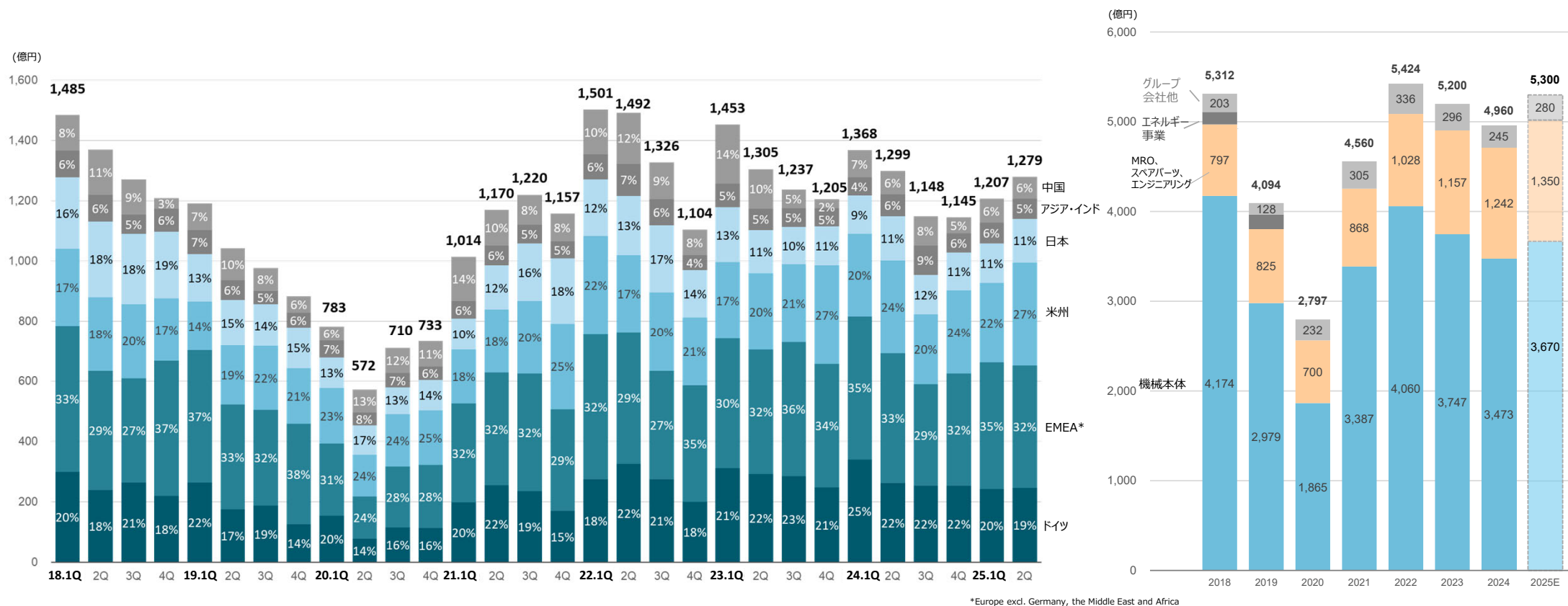
連結受注推移

DMG MORI

- ・第2四半期の連結受注額は、前四半期(2025年1-3月)比6.0%増と回復基調
- ・第3四半期連結受注も、欧州での投資刺激策、防衛関連向け需要増に加え、9月開催予定のドイツEMOショーの寄与により、増加予想

四半期

年度

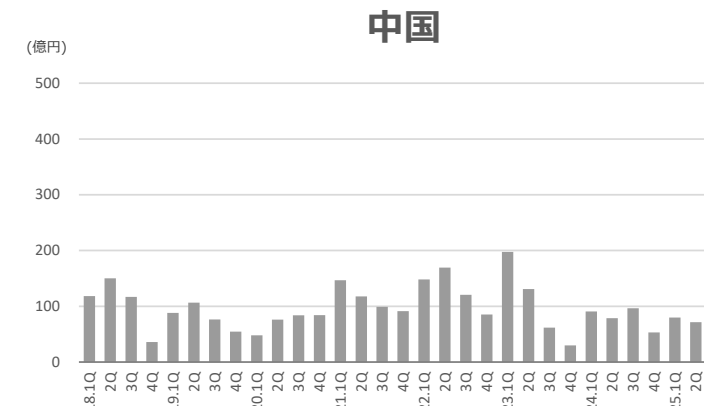
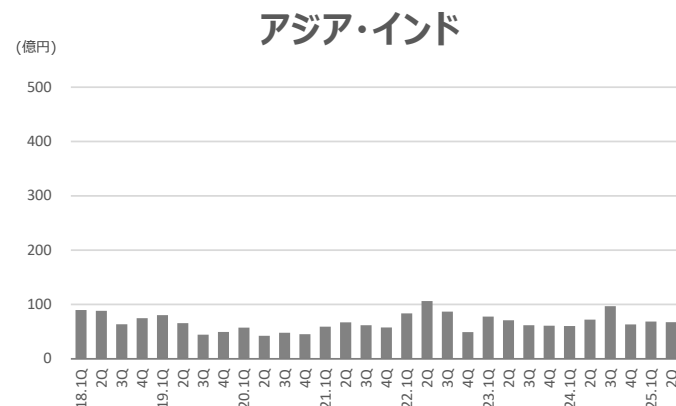
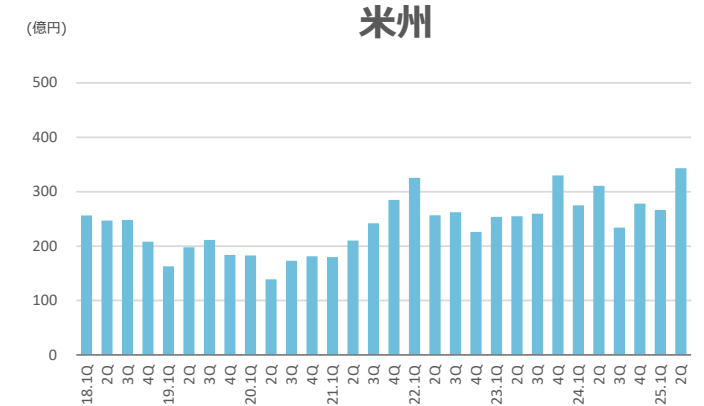
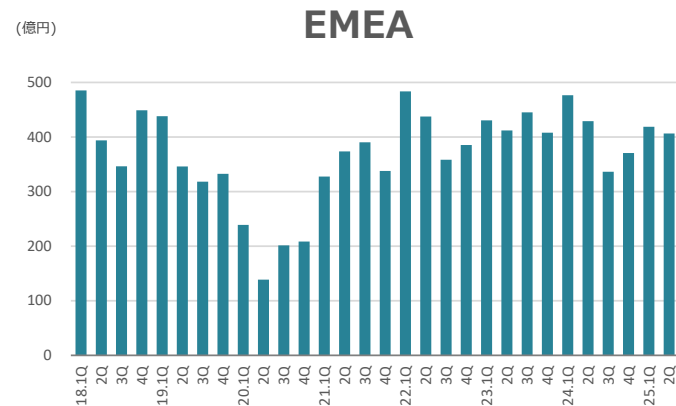
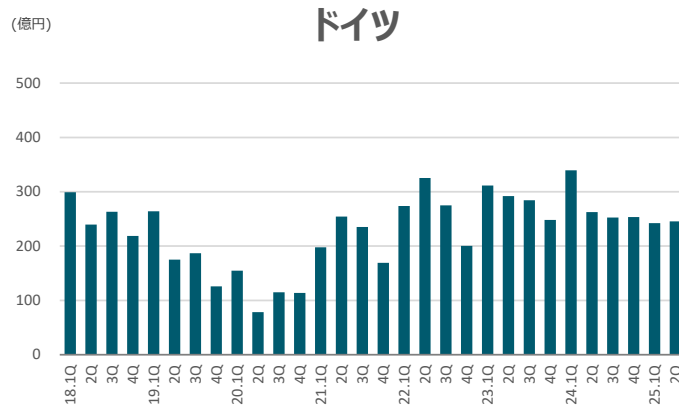


地域別受注推移

DMG MORI

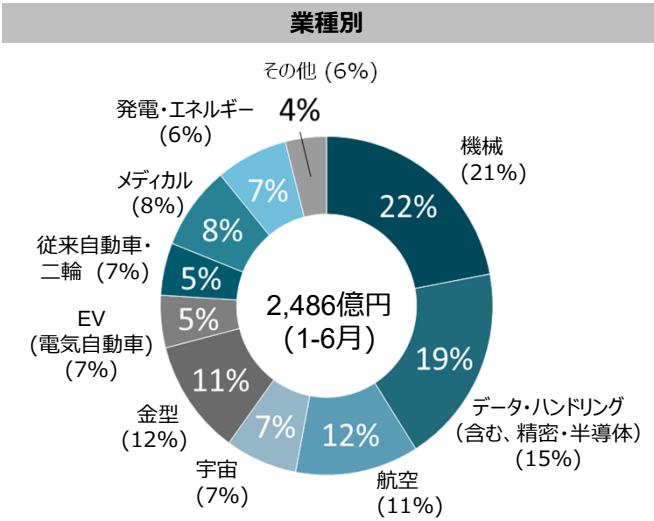
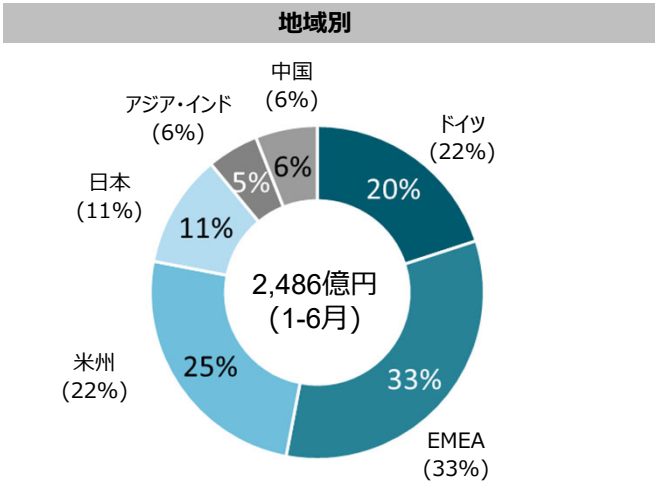
- ・米州の受注は好調維持。ピーク水準を更新
- ・ドイツ、EMEA、アジア・インドも航空、エネルギー関連を牽引役に回復見込み

*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa

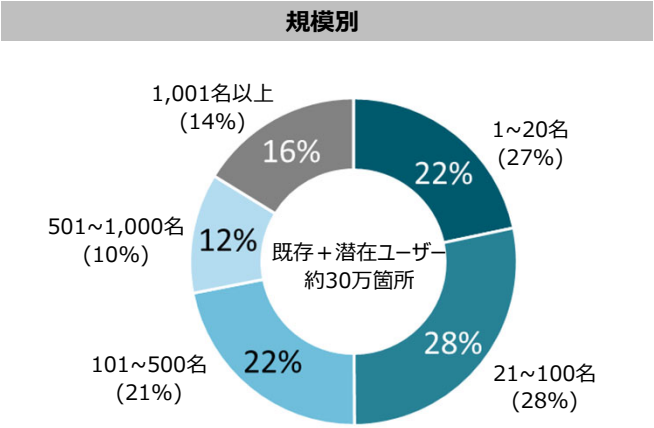
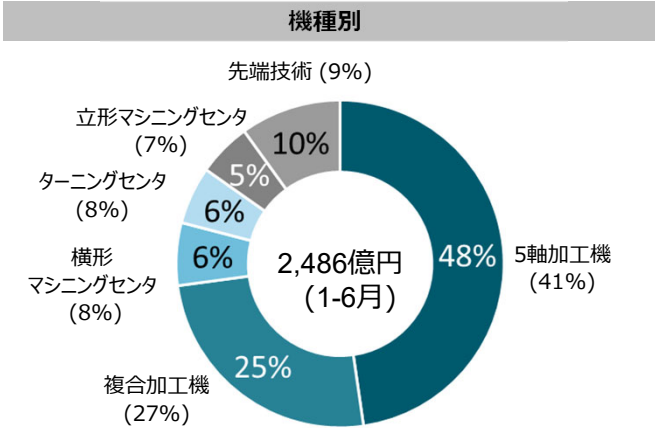


連結受注構成 (1-6月)

- ・ 航空、宇宙、防衛、データ・ハンドリング、発電関連向けの需要が好調
- ・ 5軸加工機、先端技術が増進。主力3製品、5軸加工機、複合加工機、先端技術の構成比は83%

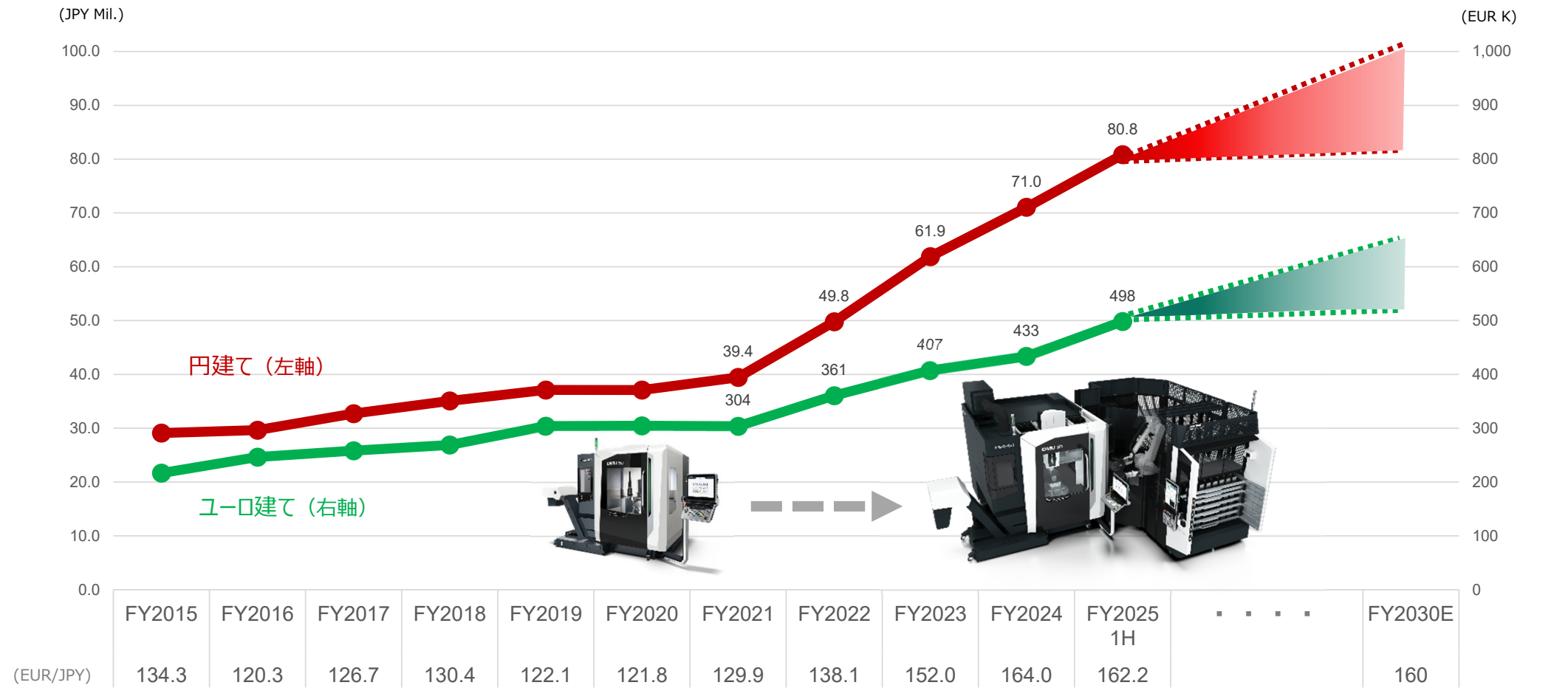


※金額ベース
※カッコ内：2024年1-12月



1台あたりの機械受注単価推移

- 平均単価は80.8百万円（498千ユーロ）と2030年計画の80百万円（500千ユーロ）の水準を達成
- 複数の自動化大型案件により会社計画以上で推移



1. 2025年度上半期(1-6月)決算概要、年度予想

2. 事業環境

3. MX推進: EMO2025 Hannover

- **EMO2025ハイライト**
- **ワールド・プレミア（世界初披露機）**
- **自動化**
- **DX by CELOS X**
- **グリーンモード機能**

4. 防衛産業の概況・見通し

5. *my* DMG MORI eMarket開始

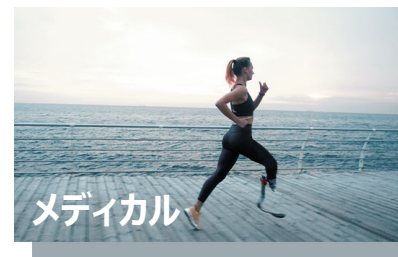
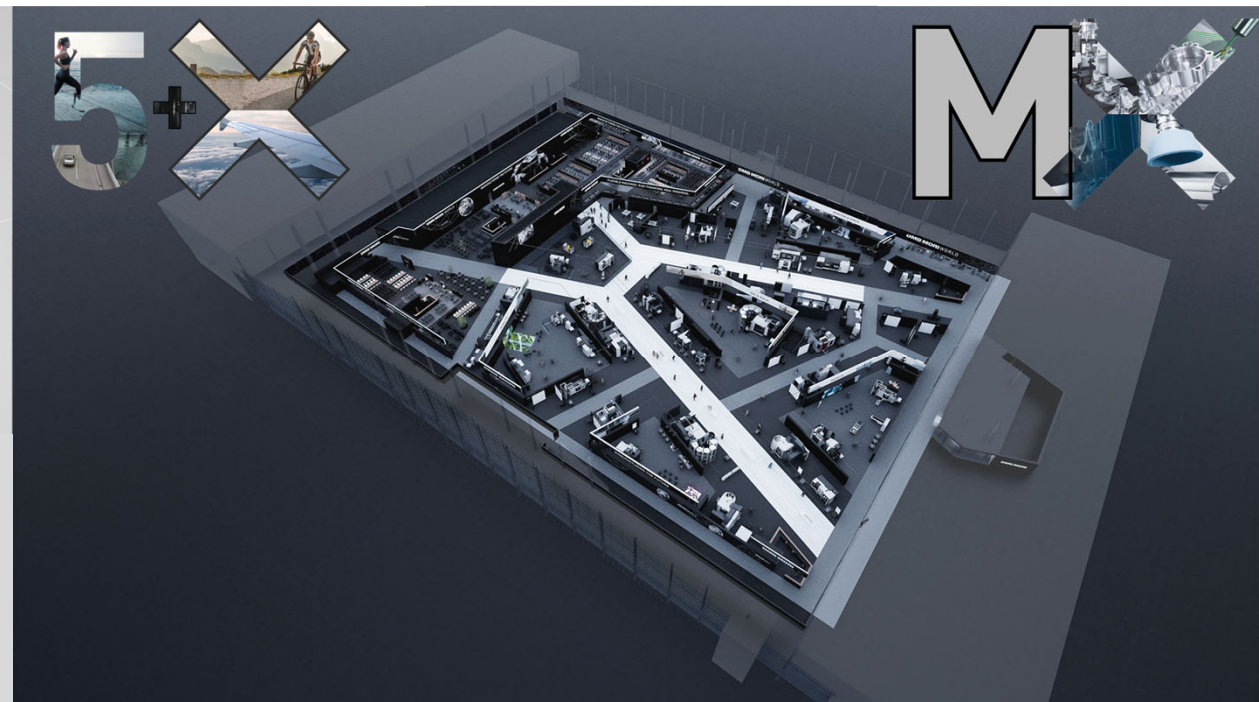
6. 2025年度 株主様ご優待制度について

EMO 2025 (欧州国際工作機械見本市)|概要

2025年9月22日～26日



- 展示機40台以上、うち8台が世界初公開
- 工程集約機：39台
- 自動化対応機：33台
- DX実現：「CELOS X」搭載機39台
- GX実現：「CELOS X」搭載機すべてが「GREENMODE」で稼働



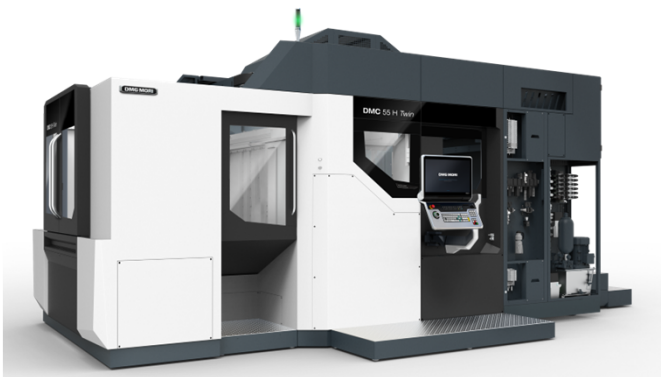
NLX 2500|1250 2nd gen.



NZ DUE / TRE / QUATTRO TC



DMU/C 55 H Twin



Ultrasonic 60 precision

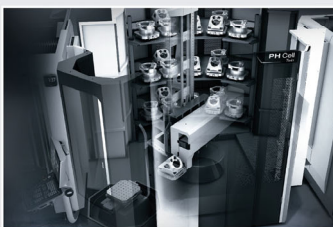


40台以上の展示機に33の自動化ソリューションを連結

WORKPIECE HANDLING



PALLET HANDLING



TOOL HANDLING



AMR



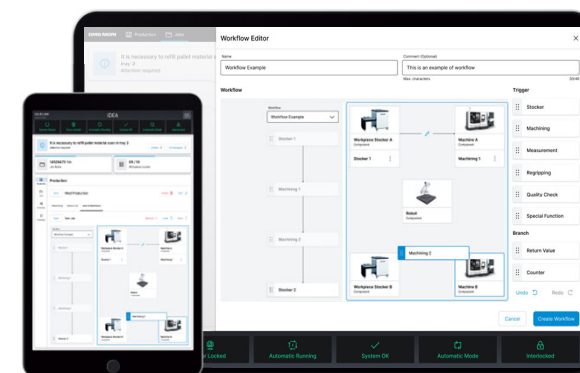
簡単導入・後付け可能



イノベーション: AMR 1000



AUTOMATION CONTROLLER

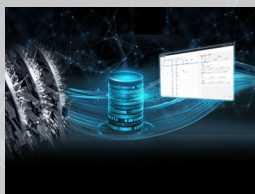


- + 標準化されたセルコントローラ：あらゆる自動化システムに対応
- + 統一UX/UI
- + 直感的な操作性と高い適応性
- + Xchangeデータ連携
ERP、工場計画、
工具・リソース管理

DX

デジタルツーリング

- + Tool Master
- + Tool Data Exchange
- + 段取り時間を80%短縮



GREEN MODE アプリ

- + 電力消費の監視機能
- + 節電機能
- + エア漏れ監視機能
- + 廃棄物削減・コスト削減



Energy
Monitoring



Energy
Saving



Air Leakage
Monitoring

テクノロジーサイクル・オンデマンド

- + 稼働時間に応じたオンデマンド発注
- + 初期投資不要でコスト削減



安全なアプリとデータ管理

- + OTA アップデート対応
- + ユーザー自身で更新可能
- + 最高水準のセキュリティ



SELF SERVICE

- + 日常的なトラブルを自己解決
- + 直感的な操作ガイド
- + 機械停止を最小化・コスト削減



PARTNER アプリ連携

- + **gemineers**: 部品のデジタルツイン
- + **Mahr**: リアルタイムで面品位を機内計測
- + **Renishaw** – Power Probe: 加工中の測定機能





最適化されたクーラント供給

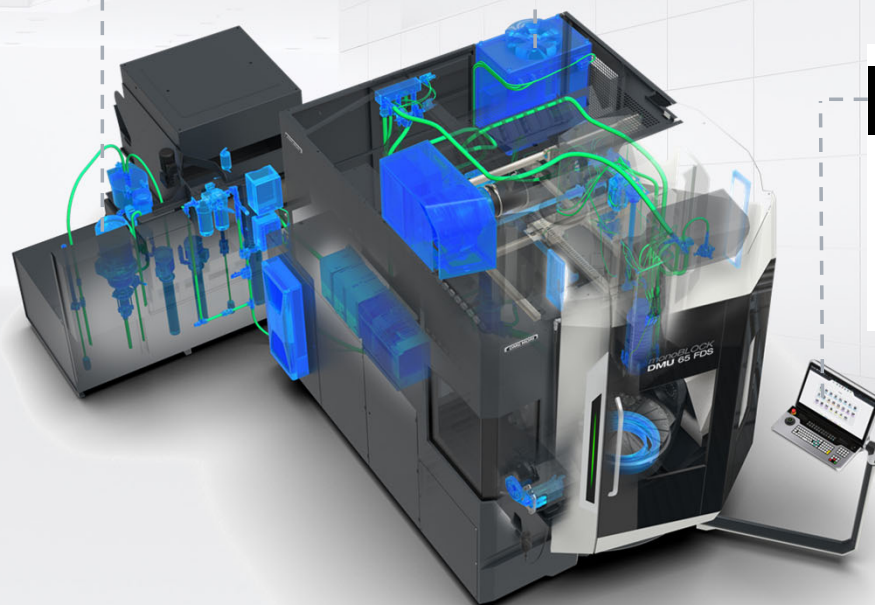
- クーラントを効率よく供給
- ポンプのエネルギー消費を最大90%削減

省エネを実現するチラー(冷却装置)

- インバータ搭載の冷却水混合装置
- 水冷チラーで効率よく冷却

30%以上

エネルギー節約可能*



DXによる最適化と見える化

- 新たな省エネモード
- 空圧機器のモニタリングによる漏れ検知
- 高度なエネルギーモニタリングで透明性アップ

※計算はBrake Energy Recovery、Adaptive Feed Control、Air-Purge-Free Scales、zeroFOG、zero-sludgeCOOLANT、AI Chip Removalなどの機能を含めます。

1. 2025年度上半期(1-6月)決算概要、年度予想

2. 事業環境

3. MX推進: EMO2025 ハノーバー

- EMO2025ハイライト
- ワールド・プレミア（世界初披露機）
- 自動化
- DX by CELOS X
- グリーンモード機能

4. 防衛産業の概況・見通し

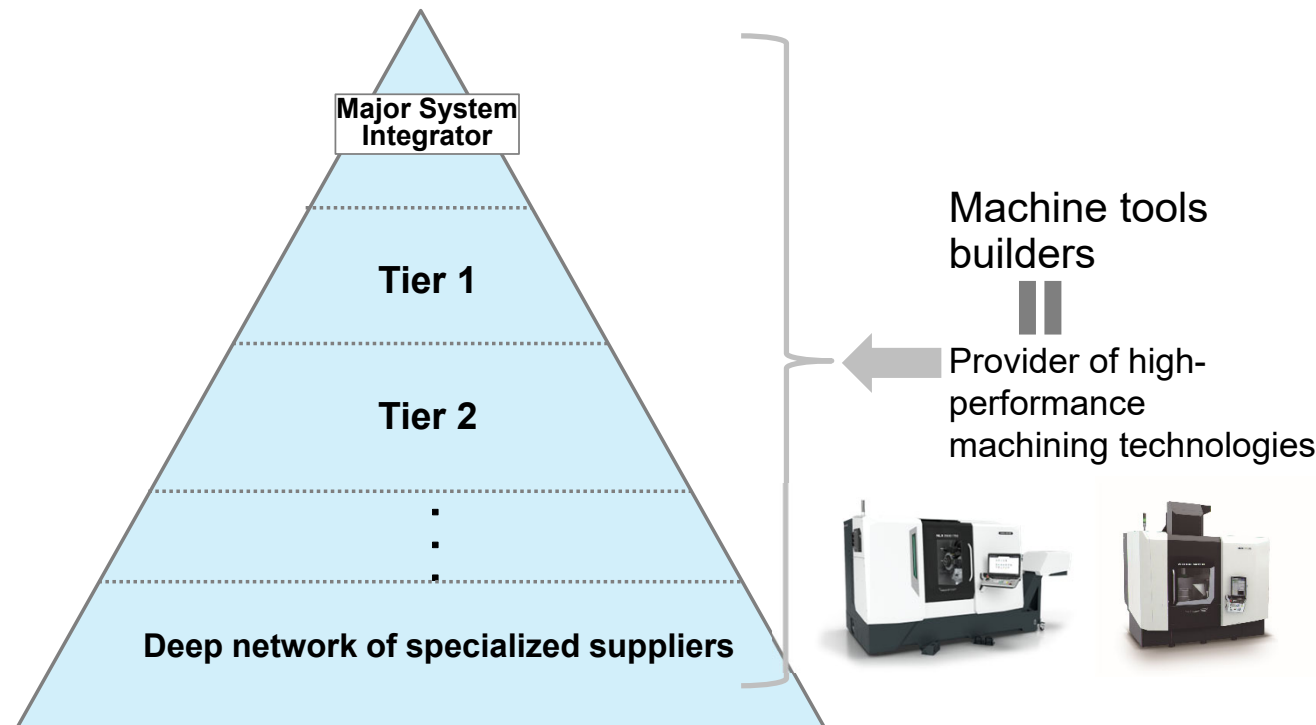
5. *my* DMG MORI eMarket開始

6. 2025年度 株主様ご優待制度について

パリ・航空ショー2025出展 (2025 年6月16日～ 6月22日)



■ 防衛産業の構造と、工作機械メーカーの位置付け



(Image prepared by DMG MORI)

my DMG MORI eMarket : 13,000社×600万点をつなぐ「ワンストップ調達」

DMG MORI

トラスコ中山株式会社とテクニウム株式会社の協業により DMQP*販売を拡大 *DMG森精機認定周辺機器

- ✓ 機械に最適な切削工具・治具をDMG MORI エンジニアが
eMarket上で提案、リピート購入も容易
- ✓ トラスコ中山のTRUSCO オレンジブック.Comと連携
豊富な品揃えとスピーディーな出荷を実現
→ 15時までの注文で最短翌日納品

トラスコ中山株式会社は、モノづくり現場で必要とされる作業工具を始めとするあらゆる工場用副資材を、28カ所の物流センターから日本全国のユーザー様へお届けする物流機能を持つ、日本最大級のMRO商材卸売企業です。

my **DMG MORI** × **TRUSCO**
オレンジブック.Com

my **DMG MORI**
eMarket



素材 工具 消耗品

※「TRUSCO」及び「オレンジブック.Com」はトラスコ中山株式会社の登録商標です。

2025 年度株主様ご優待制度について

DMG MORI

- ✓ 対象：2025 年 12 月 31 日時点で、当社株式 500 株以上を 1 年間以上継続して保有する株主様
- ✓ 反田恭平氏プロデュース Japan National Orchestra のコンサートにご招待。
株主様 1 名につき、チケット 2 枚まで進呈*

* コンサートへのご参加が難しい場合には、お申込みいただいた方にJNOのCDをお送りいたします。



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更